



令和6年7月31日  
東日本高速道路株式会社

## 新たな高速道路サービス創出と地域社会の課題解決に向けて 『ドラぷらイノベーションラボ』 第Ⅳ期共創パートナー募集開始！

～高速道路の新たな体験価値を幅広く募集する4つのテーマに加え、早期の解決を目指しているテーマについて3つのテーマで募集を行います～

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、アクセラレータープログラム『ドラぷらイノベーションラボ』(以下、本プログラム)の第Ⅳ期パートナー企業募集を2024年8月1日より開始します。



### 1. プログラム実施の背景

当社はこれまでお客さまの「安全・安心・快適・便利」を追求し、地域と地域を“つなぐ”インフラを担う企業として“ヒト”と“モノ”の移動を支えてきました。近年、テクノロジーの進化や社会における価値観が多様化する中、我々もヒト・モノ・コトの移動に新しい「価値」をもたらし、持続可能な社会の実現に貢献する必要があると考えています。

新たな高速道路サービスの創出と実現に向け、様々なビジネス領域で大きな成長を志向するビジネスパートナーと、多くの強みを有する当社との共創による変革の加速を目指し、2021年に高速道路会社初のアクセラレータープログラムをスタートしました。なお、現在は第Ⅲ期募集で採択された企業を中心に、新たなサービス実現に向けた実証実験を展開しています。(※別紙「参考資料」参照。)

### 2. プログラム内容

本プログラムは、新たな技術や、革新的なビジネスアイデアを有し、未来の高速道路サービスに向けたイノベーションに意欲的な共創パートナーと、当社が保有する高速道路やサービスエリア・パーキングエリア(以下、SA・PA)などの実証フィールド、リソースや検証予算等を活用しながら、社会課題を解決し、ヒト・モノ・コトの移動に「新たな価値」をもたらすサービス・プロダクトの社会実装を目指します。

特徴

# FEATURE

共創で新規価値の創造を目指すプログラム



令和6年4月1日現在 ※通行台数のみ令和5年度実績

### 3. 募集テーマ

本プログラムでは、昨年度と同じ4つのテーマに加え、中期経営計画の見直しを踏まえて、当社が早期の解決を目指している課題について募集する3つのテーマを設定し、合わせて7つのテーマで共創パートナーを募集いたします。

#### 《高速道路の新たな体験価値を幅広く募集する4つのテーマ》

##### ① 次世代に向けた高速道路事業のアップデート

北海道から関東まで東日本 3,943km、1日 296万台が利用するNEXCO 東日本の高速道路。建設から 50 年以上が過ぎて老朽化対策等が急務な一方で、テクノロジーの急速な進展とともに自動運転車やコネクテッドカーの普及が現実となりつつある社会で、「安全・安心」や「快適・便利」をこれから数十年先も向上し続け、ヒト・モノ・コトの移動における提供価値をアップデートする。

(共創例)

- ・次世代高速道路(203X年)に向けた「安全・安心」の実現
- ・新しい移動体験による「快適・便利」を提供
- ・高速道路の更なる利便性向上

##### ② サービスエリア・パーキングエリアの更なる価値向上

東日本エリア 328カ所、お客さまの憩いの場としてのSA・PA。いつも地域経済に寄り添い、都市と地域、地域と地域を“つなぐ”ハブ・地域同士の結節点として活性化にも貢献してきた。これまでの「リフレッシュ空間」としての存在に加え、テクノロジーやサービスを深化させ、新たな顧客体験を提供し、SA・PAの更なる価値向上を実現する。

(共創例)

- ・SA・PAでの新たな顧客体験の提供
- ・SA・PAを“人が集まる場”へ
- ・地域コミュニティを活性化させる場づくり

### ③ 各種アセットを起点とした地域連携強化や新事業創出

1日296万台のお客さまとの接点や走行データ。不動産・金融・旅行などの事業。NEXCO東日本が管理する多様で広大なフィールドで、テクノロジーの活用やソリューションの実装によって新たな顧客体験を提供し、従来の価値を向上させることはもちろん、更なる付加価値を提供する事業体へと進化・深化させる。

(共創例)

- ・SA・PAをハブとした地域活性化の推進
- ・“移動機会”の創出と“移動体験”の提供
- ・各種アセット・データの新たな活用方法

### ④ サステナブルな事業運営とSDGsへの貢献

人々の移動と経済を支えるインフラ会社だからこそその責任。カーボンニュートラル・脱炭素社会・循環型社会の実現、自然災害への対策、地域や沿道の生活環境の向上、人口減少・高齢化に適応した運営方法の確立など、いつの時代でもサステナビリティのある事業運営を実現していく。更に、各ステークホルダーとも連携した社会全体のサステナビリティ・SDGsに貢献するスキーム構築を目指す。

(共創例)

- ・カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現
- ・循環型社会の実現
- ・インフラ機能の安定提供

## 《当社が早期の解決を目指す課題について募集する3つのテーマ》

### ① 長距離ドローンを活用した道路管理業務の効率化・省力化

NEXCO東日本が管理する高速道路網は、都市部もあれば山間部にも存在する。インフラとして、通常時はもちろん、非常時でも、常に安全・安心を確保していく責務がある。長距離ドローンのテクノロジー・ソリューションを活用した道路管理業務の高度化は、これからの時代において必要不可欠であり、パートナーとの共創でその実現を目指す。

(共創例)

- ・ドローンを活用した高速道路・橋梁の点検

### ② リアルタイムでの高速道路上の異常検知・アラート通知

高速道路は一般道と比較して、「輸送時間の短縮」「輸送コストの軽減」「交通事故の減少」といったメリットをもたらす。非常に高い速度域で走行する道路空間を安全に利用いただくためには、小さな異常やトラブルを早期に、正確に検知し、対策していくことが求められる。お客さまの安全のために、テクノロジーを保有するパートナーとの共創で、異常検知と復旧の高度化を実現する。

(共創例)

- ・リアルタイムな異常検知と対処の実現

### ③ 構造物の点検業務・調書作成の効率化・自動化

高速道路の「安全・安心」を守るためには、日々の保守・点検はもちろんのこと、5年に1度の詳細点検も義務づけられている。これらはお客さまの安全確保・構造物の延命には必要不可欠である一方、点検結果の調書作成・管理に膨大な時間とコストを要している。調書作成・データ管理の業務をテクノロジー活用で効率化、自動化し、よりサービス向上へと注力できる環境をパートナーと共に早期に構築する。

(共創例)

・テクノロジーによるインフラ管理の効率化・省人化

## 4. スケジュール

本プログラムは、以下のスケジュールで実施します。

なお、本プログラムでの検証の結果、継続する価値が高いと判断した取り組みに対しては、事業化に向けて更なる投資等を行うことを検討します。

2024年8月1日	エントリー開始
2024年8月8日	プログラム説明会(オンライン開催) ※プログラム説明会への参加をご希望の方は、本プログラム専用サイトよりお申し込みください。なお、ご参加いただかなくても、本プログラムへの応募は可能です。
2024年9月5日	早期応募締切
2024年10月1日	最終応募締切
2024年10月18日(予定)～	書類選考・面談選考
2024年11月(予定)	審査結果通知 / インキュベーション開始
2025年1月(予定)	採択案件の公表
2025年2月以降(予定)	実証実験 / PoC <sup>※</sup> 実施

※PoC:Proof of Conceptの略。コンセプト検証

## 5. 応募資格

- ・法人登記がなされていること(企業規模は問いません)
- ・プロダクトや技術をお持ちであること

## 6. 応募方法

NEXCO 東日本 ドラぷらイノベーション Web サイト内に「E-NEXCO OPEN INNOVATION PROGRAM

2024」を公開します。以下の URL よりご応募ください。

《URL》[https://www.driveplaza.com/innovation\\_lab/](https://www.driveplaza.com/innovation_lab/)

7. 本プログラムに関するご質問・お問い合わせ

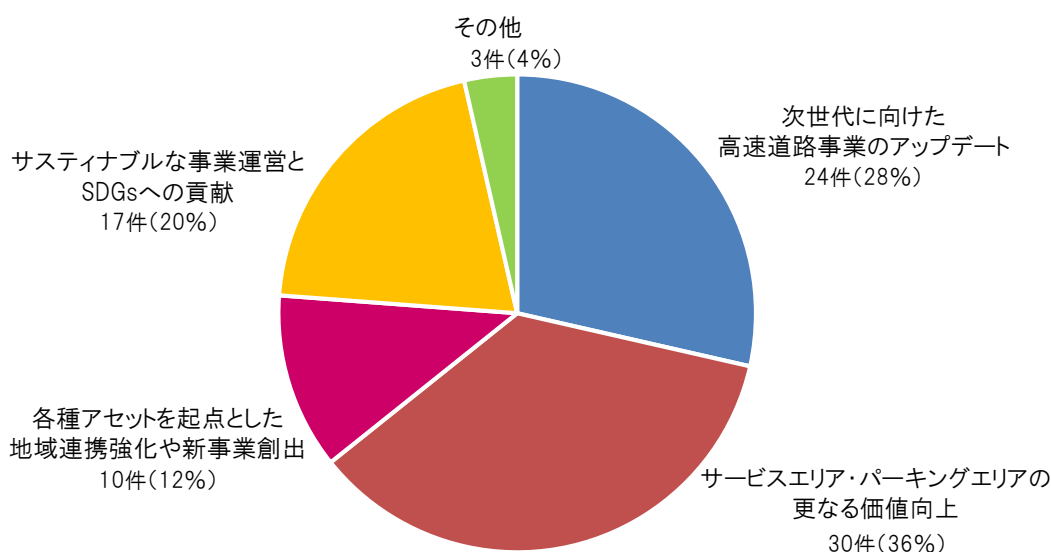
ご質問・お問い合わせは、以下までお気軽にお問い合わせください。

ドライブイノベーションラボ事務局 i\_lab@e-nexco.co.jp






## アクセラレータープログラム『ドラぷらイノベーションラボ』第Ⅲ期 募集期間 令和5年8月1日～10月2日

応募総数：84件

### 応募テーマ内訳



採択企業：5社

企業名	提案内容
株式会社and.d 	AI観光アシスタントによる観光促進 ～多言語対応AIボットで地域観光をサポート～
株式会社さとゆめ 	SA・PAを"地域"の入口に ～地域のストーリー（物語）を伝える地域拠点・地域アンテナショップの設置～
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社 	高速道路の地下埋設物管理の高度化 ～レーダーを活用した高度な検知技術で地下埋設物の調査・可視化を実施～
Planet Savers株式会社 	DAC（Direct Air Capture）技術を用いた大気中からのCO2回収 ～CO2の総量削減に向けたチャレンジ～
株式会社Liva 	食でツナグ地方創生 ～食の体験型ショールーミングを目指した新しい試食の形をSA・PAで提供～